

2017 年度事業報告

(自 2017 年 4 月 1 日～至 2018 年 3 月 31 日)

公益財団法人大学セミナーハウス

2017 年度事業報告
(自 2017 年 4 月 1 日 至 2018 年 3 月 31 日)

I 法人の状況

1. 設立年月日等

1962 年 3 月 31 日 財団法人 大学セミナーハウス設立
2011 年 4 月 1 日 公益財団法人に移行 (公益認定行政庁：東京都)

2. 定款に定める目的

当法人は、高等教育機関における学生の研学及び修練の諸活動への協力並びに高等教育機関相互の交流に努めるとともに、教育研究成果の一般への普及を図り、もってわが国の高等教育機関並びに知識基盤社会の向上発展に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 学生のための研修会及び講演会の開催
- (2) 大学共同のセミナーなど大学相互の理解を深める諸活動
- (3) 高等教育・研究の成果の社会への普及に関する諸活動
- (4) セミナーハウスの設置及び維持運営
- (5) 留学生宿舍の設置及び維持運営並びに留学生教育の支援
- (6) その他この法人の目的達成するために必要な事業
- (7) (1)～(6)の事業は、東京都において行うものとする

4. 監督機関に関する事項

東京都

「認定法」第 27 条第 1 項及び第 59 条第 2 項の規定に基づく立入検査が平成 28 年 12 月 19 日に実施され、指摘事項については改善された。

5. 会員の状況 (詳細は附属明細書 1 参照)

2018 年 3 月 31 日現在

| 区 分 | | 当 期 末 | 前 期 末 | 増 減 |
|-------|---------|-------|-------|-----|
| 協力会員 | 国 立 | 9 | 9 | 0 |
| | 公 立 | 2 | 2 | 0 |
| | 私 立 | 24 | 24 | 0 |
| | 大 学 校 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 35 | 35 | 0 |
| 準協力会員 | 国 立 | 1 | 1 | 0 |
| | 公 立 | 0 | 0 | 0 |
| | 私 立 | 1 | 1 | 0 |
| | 計 | 2 | 2 | 0 |
| 賛助会員 | 法 人 団 体 | 10 | 5 | 5 |
| 合 計 | | 47 | 42 | 5 |

6. 主たる事務所

主たる事務所の所在地 : 東京都八王子市下柚木1987番1

7. 役員に関する事項

(1) 理事11人及び監事2人

2018年3月31日現在

| 役職 | 氏名 | 常勤・非常勤別 | 勤務先等職務 |
|------|--------|---------|----------------|
| 理事長 | 荻上 紘一 | 非常勤 | 元大妻女子大学学長 |
| 館長 | 鈴木 康司 | 非常勤 | 元中央大学学長 |
| 専務理事 | 外村 幸雄 | 常勤 | 元中央大学広報室長 |
| 常務理事 | 白井 克彦 | 非常勤 | 元早稲田大学総長 |
| 理事 | 佐藤 東洋士 | 非常勤 | 桜美林学園理事長・学園長 |
| 理事 | 室伏 きみ子 | 非常勤 | お茶の水女子大学学長 |
| 理事 | 大場 昌子 | 非常勤 | 日本女子大学学長代行 |
| 理事 | 三木 義一 | 非常勤 | 青山学院大学学長 |
| 理事 | 小川 哲生 | 非常勤 | 明星学苑副理事長 |
| 理事 | 上野 淳 | 非常勤 | 首都大学東京学長 |
| 理事 | 増田 正人 | 非常勤 | 法政大学副学長・常務理事 |
| 監事 | 沖永 佳史 | 非常勤 | 帝京大学理事長・学長 |
| 監事 | 光田 明正 | 非常勤 | 桜美林大学孔子学院名誉学院長 |

(2) 評議員15人

2018年3月31日現在

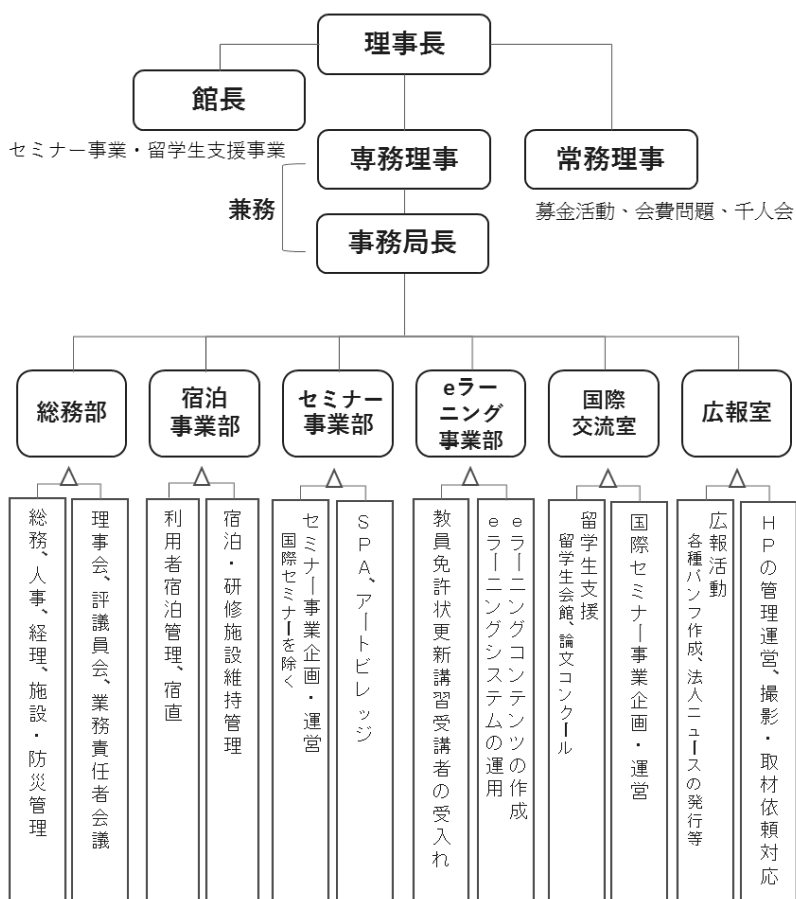
| 役職 | 氏名 | 常勤・非常勤別 | 勤務先等職務 |
|--------|---------------|---------|----------------|
| 評議員会議長 | 鷲山 恭彦 | 非常勤 | 東京学芸大学名誉教授 |
| 評議員 | 篠田 節子 | 非常勤 | 作家 |
| 評議員 | 八木 敏郎 | 非常勤 | 多摩信用金庫理事長 |
| 評議員 | 村田 雄二郎 | 非常勤 | 東京大学大学院教授 |
| 評議員 | 小畑 秀文 | 非常勤 | 国立高等専門学校機構前理事長 |
| 評議員 | 山本 眞一 | 非常勤 | 桜美林大学教授 |
| 評議員 | 大井 孝 | 非常勤 | 一般社団法人日米協会理事 |
| 評議員 | 蓼沼 宏一 | 非常勤 | 一橋大学長 |
| 評議員 | 石森 孝志 | 非常勤 | 八王子市長 |
| 評議員 | 高祖 敏明 | 非常勤 | 上智学院 理事長 |
| 評議員 | 清家 篤 | 非常勤 | 前慶應義塾長 |
| 評議員 | 馬場 善久 | 非常勤 | 創価大学学長 |
| 評議員 | 日比谷 潤子 | 非常勤 | 国際基督教大学学長 |
| 評議員 | ピーター マッキヤグ | 非常勤 | 国際教養大学理事兼副学長 |
| 評議員 | 吉岡 知哉 | 非常勤 | 立教大学総長 |

8. 職員に関する事項

2018年3月31日現在

| 職員数 | | | 前期末比増減 | 平均年齢 | 平均勤続年数 |
|--------|-----|-----|--------|------|--------|
| 職員 | 男 | 1名 | 0 | 63歳 | 3.5年 |
| | 女 | — | — | — | — |
| 嘱託 | 常勤 | 男 | 2名 | 0 | 6.6歳 |
| | | 女 | 8名 | 0 | 5.4歳 |
| | 非常勤 | 男 | 4名 | 0 | 6.5歳 |
| | | 女 | 2名 | 1 | 5.1歳 |
| 非常勤職員 | 男 | 2名 | 0 | 7.1歳 | 2年 |
| | 女 | 1名 | △2 | 3.9歳 | 1年 |
| 派遣職員 | 男 | 2名 | 0 | 7.4歳 | 2.3年 |
| | 女 | 1名 | 1 | 4.9歳 | 0.5年 |
| 合計又は平均 | | 23名 | 0 | 5.8歳 | 6.1年 |

<参考> 事務局組織 2018/04/01現在



9. 許認可に関する事項

なし。

II 事業の状況

1. 2017年度概況

2017年度につきましては、2016年度第2回理事会でご承認いただいた中期事業計画の基本方針を踏まえつつ、高等教育の新局面、利用者のニーズなどセミナーハウスを取り巻く環境の変化への対応を反映させた事業計画に沿って、その実現に向けて鋭意取り組んでまいりました。

2017年度の事業計画で掲げたビジョンと重点項目は以下の通りです。

【セミナーハウスビジョン2015】

VISION 1 理念の実現

VISION 2 伝統の継承

VISION 3 新たな展開 —個性豊かな宿泊研修の整備—

【重点6項目】

- ① 宿泊利用者拡大施策の展開
- ② セミナー事業の充実
- ③ 留学生支援事業の継続・充実
- ④ 広報活動の強化と連携・協力体制の構築
- ⑤ 財政の基盤強化
- ⑥ 法人としての基盤整備

会員数の減少傾向、宿泊利用者数の伸び悩み、施設老朽化による修繕費の増加などにより経営状況はマイナスのスパイラルに陥ろうとしており、財政基盤の強化が最重要課題であります。

開館から50年以上を経て、施設の老朽化への対応、新たな宿泊利用者の獲得、セミナー事業の見直しなどが求められ、固定客依存型の宿泊研修支援事業、会費依存型の経営からの脱却が喫緊かつ最大の課題であります。この課題の解決が、当法人の収益構造を健全化し、財政基盤の強化を実現することになるものと考えています。

財政基盤の基礎となる会費基準の改正については、2015年11月の理事会において承認され、2016年度から適用しています。この改正は、会費額算定の基準を変更するとともに会費額に上限を設けることで会員間の格差を是正し、会費の減額を理事会決定事項にすることで透明性を担保したものです。

2016年度については、宿泊施設の修繕など収益に直結する計画に集中的に資金投下するとともに既存の経費については厳しく検証することで、財政立て直しのための環境整備を図ってきました。

しかし、2017年度は会費収入の減少は抑えられたものの、宿泊事業収入が大きく減少し、加えて新食堂棟建設、各種大規模修繕など固定資産取得に予定を大幅に上回る資金支出を余儀なくされ、非常に厳しい状況となりました。

一方で当公益財団法人としての目的を全うし、その社会的役割をより一層果たすために、既存の主催セミナーの充実に加えて、新規主催セミナーの実施、教員免許状更新講習の地方大学との連携等に力を注ぐとともに、グローバルアカデミーセミナーの新たな展開に向けた準備などを進めております。

2. 【重点6項目】の取り組みについて

① 宿泊利用者拡大施策の展開

宿泊事業では、目標の年間宿泊者数（予算）34,000人に対し、29,753人であった。

2017年度の実績については、「3. 事業の実施状況・(1)宿泊事業」で詳述するが、会員校と社会人の宿泊利用者が大きく減少している。

特に賛助会員（企業、その他の団体）の新規開拓と拡大を行い賛助会員数は増加したが、社会人の宿泊利用者数増には直結しなかった。

宿泊利用者拡大施策としては、以下の取り組みを行った。

○各種宿泊企画（宿泊プラン）の提供により利用者拡大と認知度の向上を図った。

1. 協力会員大学附属・系列校限定◆合宿研修割引料金プラン（附属・系列校利用促進）
2. 期間限定◆直前2か月前予約割引利用プラン
3. 留学生短期滞在応援プラン

○大学セミナーハウスの特性を活かした利用促進

1. 建築会社の測量研修での利用（測量に適した地形）
2. 音楽団体の利用（防音設備を備えた講堂・中央セミナー室の利用）
3. 建造物としての価値を利用した見学ツアー企画

※DOCOMOMO Japan 1999年に日本の代表的近代建築20選に選定

※国立西洋美術館（2016年世界遺産登録）の設計者ル・コルビュジエの弟子である吉阪隆正氏の設計

※東京都歴史的建造物に選定（本館が2017年3月23日に選定）

② セミナー事業の充実

（1）新規主催セミナー事業の展開

1. 新規セミナーの実施

「憲法セミナー」2017年11月11日12日実施

「吉笑ゼミ」2017年東京大学と京都大学での実施

東京大学 福武ラーニングシアター（9月2日）

京都大学 百周年時計台記念館国際交流ホール（12月17日）

2. 国際セミナーの新たな展開

既存の「EUセミナー」に加えて新たに「中国セミナー（仮称）」を2018年度から実施すべく、具体的検討に入った。併せて「グローバルアカデミーセミナー」として展開することとした。

（2）e-learning を活用した教員免許状更新講習の実施

1. 教員免許状更新講習

2017年度目標を延600人としたが、結果は288人であった。

2. 本法人の教員免許状更新講習コンテンツ及びシステムを関西国際大学と活水女子大学が利用し、受講受付と修了試験を委託する事業を始めた。2017年度の目標利用人数を延450人としたが、150人であった。

（3）既存セミナーの実施

1. 新任教員研修セミナー（1泊2日）

2. 教員免許状更新講習（e-learning）

3. 大学職員セミナー（日帰りおよび宿泊セミナー、年2回実施）

4. EUセミナー（2泊3日）

*2017年度実施の新規及び既存セミナーの実施状況については「附属明細書2 主催セミナーに関する事項」で詳述する。

（4）SPA プログラム

スタートから3年目となるが、利用実績が思わしくないため会員と教育機関にはSPAプログラムを宿泊利用者に限り無料提供することとし、新たな宿泊利用者獲得を目指した。

積極的な利用促進活動（営業活動）を展開し、宿泊利用者増を図るべく取り組んだ結果、予算時に掲げた目標数値である新規開拓宿泊利用者数700人をほぼ達成することができた。

③ 留学生支援事業の継続・充実

(1) 留学生会館の施設概要と入居状況

部屋数 25 室 部屋代 45,000 円/月 (光熱水料・共益費込)

入居率 2016 年度 95% 2017 年度 69% (留学生支援事業収益により算出)

*入居状況については「附属明細書3 留学生会館入居状況」で詳述する。

(2) 留学生論文表彰事業 (論文コンクール)

応募作品数 30 のうち 6 作品が入賞

応募者所属大学数、国籍、入賞作品一覧等については「附属明細書4 留学生論文の表彰に関する事項」で詳述する。

(3) 留学生相談ホットライン (ホームページに掲載)

在日留学生・海外学生からの進学相談対応

短期滞在の留学生や研究者の宿泊についての問い合わせ対応

④ 広報活動の強化と連携・協力体制の構築

(1) 広報活動の強化

1. ホームページの更なる充実 (随時修正・改善)

メインビジュアルページなど顧客アクセスページの改善

2. ステークホルダー対象の利用促進パンフレット「FANBOOK」の改訂版作成

多様かつ満足度の高い利用者を中心に表現したビジュアルコンテンツ

3. 「セミナーハウスニュース」の年2回編集発行

4. 会員の新規開拓広報活動の積極展開

特に賛助会員の開拓活動には積極的に取り組み5社増の成果を得た

5. 2016年度のインスタグラムに加えて、ツイッター、フェイスブックなど SNS での情報発信

(2) 各種支援組織との連携の強化

1. アートビレッジの利用者 (アーティスト) との交流と連携の強化

2. 新食堂棟委託業者との連携による宿泊者・外来者等利用者へのサービスの向上

⑤ 財政の基盤強化

(1) 経常費率

経常比率 (経常収益/経常費用) 100%以上を目指したが、2016 年度 93.4%、2017 年度 82.0%と 11.4 ポイント減少し、財務の安定性が悪化した。

(2) 宿泊事業収益

学生宿泊事業収益と社会人宿泊事業収益を合わせた宿泊事業収益が 2016 年度 158,574 千円に対して 2017 年度 151,986 千円と 6,588 千円減少した。中でも社会人の宿泊利用が減少している。

宿泊事業収益が事業収益の中核であることに鑑み、2017 年度下半期において、2018 年度の宿泊者数増加を目標に掲げて各種宿泊プランを再構築し、プランごとに組織横断的なプロジェクトチームを立ち上げ、課題共有と成果の最大化を目指して取り組みを継続している。

さらに 2018 年度に向けて減少した社会人の利用者数の増加を目指して、賛助会員の新規獲得に鋭意取り組んだ。

⑥ 法人としての基盤整備

(1) 各種規程等整備 (就業規則と関連規定の整備)

1. 「財団法人大学セミナーハウス就業規則」を「公益財団法人大学セミナーハウス就業規則」として規定整備し制定した。

2. 「財団法人大学セミナーハウス給与規程」を「公益財団法人大学セミナーハウス賃金規程」として正職員と常勤嘱託職員を対象に制定した。
3. 「財団法人大学セミナーハウス退職金規程」を「公益財団法人大学セミナーハウス退職金規程」として正職員と常勤嘱託職員を対象に制定した。
4. 「財団法人大学セミナーハウスパートタイマー就業規則」を「公益財団法人大学セミナーハウス非常勤職員就業規則」として規定を整備し制定した。

(2) スタッフの長期的な視点での強化・育成

1. 積極的な利用促進活動の推進
「全員が営業マン」の姿勢で積極的に利用促進活動に臨む方針を打ち出した
2. サービスレベルの明確化と向上
「利用者ファースト」マインドの醸成に努め、利用者との接点改善とサービスレベルの向上に取り組んだ

3. 事業の実施状況

(1) 宿泊事業

◆年間の宿泊利用者数 29,753人

2017年度の宿泊利用者数は29,753人で、前年度が31,759人でしたので、前年度と比較して2,006人の減少でした。

上半期は、17,313人（前年19,298人、前年比89.7%）で、1,985人の減少となりました。（内訳：会員校▲1,637人、一般校+170人、社会人▲518人）

下半期は、12,440人（前年12,461人、前年比99.8%）と、前年度と比較して21人の減少となりました。（内訳：会員校▲572人、一般校+987人、社会人▲436人）

年間では前年比で会員校85.6%、一般校110.4%、社会人81.9%になりました。

2018年度は各種プランを作成して利用人数の増加を図りたいと思います。

*主催セミナーは会員校に、賛助会員は一般校に含む

宿泊施設の利用状況

| 年度 | 2017年度 | | 2016年度 | | 2015年度 | |
|--------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|
| | 宿泊延人数 | 構成比 | 宿泊延人数 | 構成比 | 宿泊延人数 | 構成比 |
| 会員校 | 12,886 | 43.3% | 15,044 | 47.3% | 16,109 | 51.5% |
| 一般校 | 12,273 | 41.2% | 11,116 | 35.0% | 10,009 | 32.0% |
| 社会人 | 4,304 | 14.5% | 5,258 | 16.6% | 4,894 | 15.6% |
| 主催セミナー | 290 | 1.0% | 341 | 1.1% | 297 | 0.9% |
| 合計 | 29,753 | 100.0% | 31,759 | 100.0% | 31,309 | 100.0% |
| 収容定員 | 279人 | | 279人 | | 279人 | |
| 年間稼働日数 | 360日 | | 360日 | | 360日 | |
| 年間収容定員 | 100,440人 | | 100,440人 | | 100,440人 | |
| 年間稼働率 | 29.6% | | 31.6% | | 31.2% | |

(2) セミナー事業

① 主催セミナー

主催セミナー全体の参加者は 798 名（昨年度は 907 名）であった。

| 対象 | セミナーの名称 | 開催日 | 主題 | 参加者 (定員) |
|-------------|------------------------|-------------------------|--|------------------|
| 学生 | 第 2 回吉笑ゼミ。 | 9 月 2 日 | 知る喜び、知られる喜び。 | 102 名 (180 名) |
| | 第 6 回 EU セミナー | 9 月 22 日～ 9 月 24 日 | EU の連帯と統合の新段階 —ポ ピュリズム・移民・単一市場— | 77 名 (80 名) |
| | 憲法を学問するⅡ | 11 月 11 日～ 11 月 12 日 | | 47 名 (80 名) |
| | 第 3 回吉笑ゼミ。 | 12 月 17 日 | 知る喜び、知られる喜び。 | 37 名 (180 名) |
| 教職員 | 第 35 回大学職員セミナー | 7 月 14 日 | 大学職員の可能性を広げよう— 大学のグローバル化を牽引する 職員を目指して(第 1 回) — | 38 名 (50 名) |
| | 第 36 回大学職員セミナー | 11 月 24 日～ 11 月 25 日 | 大学職員の可能性を広げよう— 大学のグローバル化を牽引す る職員を目指して(第 2 回) — | 27 名 (40 名) |
| | 第 7 回新任教員研修セ ミナー | 9 月 4 日～ 9 月 6 日 | | 32 名 (40 名) |
| そ の 他 | 【e ラーニング】 教員免許状更新講習 | 通 年 | — | 438 名 (—) |

e ラーニング内訳：大学セミナーハウス 288 名、関西国際大学 113 名、活水女子大学 37 名

② SPA 活動

利用実績が思わしくないため、2017 年度から会員と教育機関には SPA プログラムを宿泊利用者に限り無料提供することとし、新たな宿泊利用者獲得を目指した。結果として、SPA コースの年間利用者数は 730 人 19 団体。利用者のうち日帰りが 95 人、宿泊が 635 人であった。宿泊利用者の目標数 700 人には到達しなかったが、前年の年間利用者数 293 人と比較して大きく増加した。

(3) 留学生支援事業

① 留学生会館事業（詳細は附属明細書 3 参照）

留学生に充実した留学生生活を過ごしてもらえるよう、勉学や生活上のサポートをしながら、快適で良質な宿舎を提供した。

2018 年 3 月 31 日現在の入居者数は、13 名（昨年度は 18 名）。

② 留学生論文コンクールの表彰に関する事業（詳細は附属明細書 4 参照）

(4) 土地貸与事業

① 土地及び建物等の貸与に関する事業

当法人の敷地及び建物の一部（交友館煙突）を一般企業に貸与している。一般企業はこの土地を資材置場等に、また、煙突は携帯電話の無線中継基地として利用している。

| 区 分 | 利 用 者 | 利用面積等 | 利 用 目 的 |
|-----|-----------------|--------------------|-------------|
| 土 地 | 宮川石材(株) | 675 m ² | 資材置き場 |
| 土 地 | 豊 岡 誠 | 12 m ² | 駐車場 |
| 土 地 | (福法) ゆずの木 | 0.5 m ² | 看板の設置 |
| 建 物 | ソフトバンク モバイル (株) | 煙突 | 携帯電話の無線中継基地 |

② 施設利用者の利便に関する事業

当施設をご利用いただく方々のために、アイスクリーム、絵葉書、ひげそり、歯ブラシ等の物品の販売、飲料や軽食の提供に伴い自動販売機設置手数料を得ている。

Ⅲ. 重要な契約に関する事項

資産の取得

単位：円

| 科 目 | 取得した資産の明細 | 取得年月 | 金 額 |
|--------|--|------------|-----------|
| 建物附属設備 | 大学院セミナー室 シーリングファン増設工事 | 2017年7月28日 | 388,800 |
| 構築物 | 本館エアコン用 クーリングタワー修理 | 2017年7月28日 | 250,560 |
| | 東電引き込み柱 傾斜補修工事 | 2017年8月31日 | 227,880 |
| 什器備品 | 防犯カメラ | 2017年9月30日 | 798,336 |
| | 多目的ホールプロジェクター | 2017年9月30日 | 1,179,360 |
| 著作権料 | 教員免許状更新講習 安積力也氏 （「聴く」教師、「待つ」教師へ） （「問いを生きる」教師へ） | 2018年2月28日 | 467,748 |
| 小 計 | | | 3,312,684 |

IV. 役員会等に関する事項

1. 評議員会

| 評議員会の区分等 | 開催月日 | 審議事項 |
|----------|------------|---|
| 第10回評議員会 | 2017年6月15日 | 1 平成28年度事業報告(案) 2 平成28年度決算書(案)について 3 任期満了に伴う理事の選任について 4 評議員の退任および補充選任について 5 任期満了に伴う評議員の選任について |

2. 理事会

| 理事会の区分等 | 開催年月日 | 審議事項 |
|---------|------------|--|
| 第23回理事会 | 2017年5月24日 | 1 平成28年度事業報告(案)について 2 平成28年度決算書(案)について 3 平成29年度年会費の減額申請について 4 平成29年度第1回評議員会の日程について |
| 第24回理事会 | 2017年6月15日 | 1 理事長、館長、専務理事及び常務理事の選出について 2 理事長・館長・専務理事・常務理事の業務執行分担(案)及び事務局長の選定について 3 専務理事の報酬 |
| 第25回理事会 | 2017年12月1日 | 1 2018年度(平成30年度)年度事業計画(案)について 2 公益財団法人大学セミナーハウス非常勤職員就業規則に制定について 3 公益財団法人大学セミナーハウス定款の変更について |
| 第26回理事会 | 2018年3月5日 | 1 さくら館建設借入金の返済方法の変更及び資金計画(借入)について 2 2018年度収支予算(案)について |

V. 正味財産増減の状況及び財産の状況

(単位：千円)

| 区分 | 平成29年度 | 平成28年度 | 平成27年度 | 平成26年度 | 平成25年度 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 経常収益合計 | 210,577 | 234,211 | 232,582 | 230,239 | 230,930 |
| 経常費用合計 | 256,686 | 250,853 | 244,330 | 227,079 | 217,201 |
| 当期正味財産増減額 | △461,083 | △19,783 | △19,237 | 5,664 | 13,619 |
| 資産合計 | 1,289,167 | 1,326,711 | 1,140,647 | 1,175,000 | 1,178,195 |
| 負債合計 | 446,706 | 438,142 | 232,294 | 247,410 | 256,273 |
| 正味資産 | 842,460 | 888,569 | 908,352 | 927,590 | 921,922 |

VI. 無償の役務の提供状況

1. 環境ボランティア

環境ボランティアは、月 2 回施設内の樹木の下刈り、蔦等のつる切、枯れた樹木の伐採等を行っている。

IV 法人の課題

1. 2017 年度概況で述べた通り、固定客依存型の宿泊事業、会費依存型の経営からの脱却による財政基盤の強化が最重要課題である。
施設の老朽化と宿泊利用者の減少という負のスパイラルを断ち切り、新たな宿泊利用者の獲得により事業収益を増加させるには、積極的な営業活動と長期的な施設改修計画による宿泊環境の維持・改善が求められる。
2. 当公益財団法人の定款に定める目的「わが国の高等教育機関並びに知識基盤社会の向上発展に寄与する」を全うするために主催セミナーをさらに充実させ、大学セミナーハウスのブランド価値を高める。
3. 協力会員は減少傾向にあり利用者も減少しているが会員以外の大学の利用者は増加している。今後の課題は民間企業、行政等にも法人の状況、事業内容等を積極的に告知し、新たな会員の獲得に努め会員総数を増加させることである。
4. 上記 1～3 を達成するため、役員・職員全員が、事業計画を理解し、コミュニケーションを図りつつ業務を遂行するとともに、スタッフの育成と人事計画にも注力することが求められる。

V 理事の職務遂行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

平成 25 年 11 月の理事会において、評議員会運営規程及び理事会運営規程を定め、評議員会及び理事会の運営を遅滞なく開催するようにした。また、理事会・評議員会の開催運営に関する東京都からの指摘事項について改善に努めることとした。

VI 株式保有している場合の概要

該当なし。

VII 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

特になし。

以上